

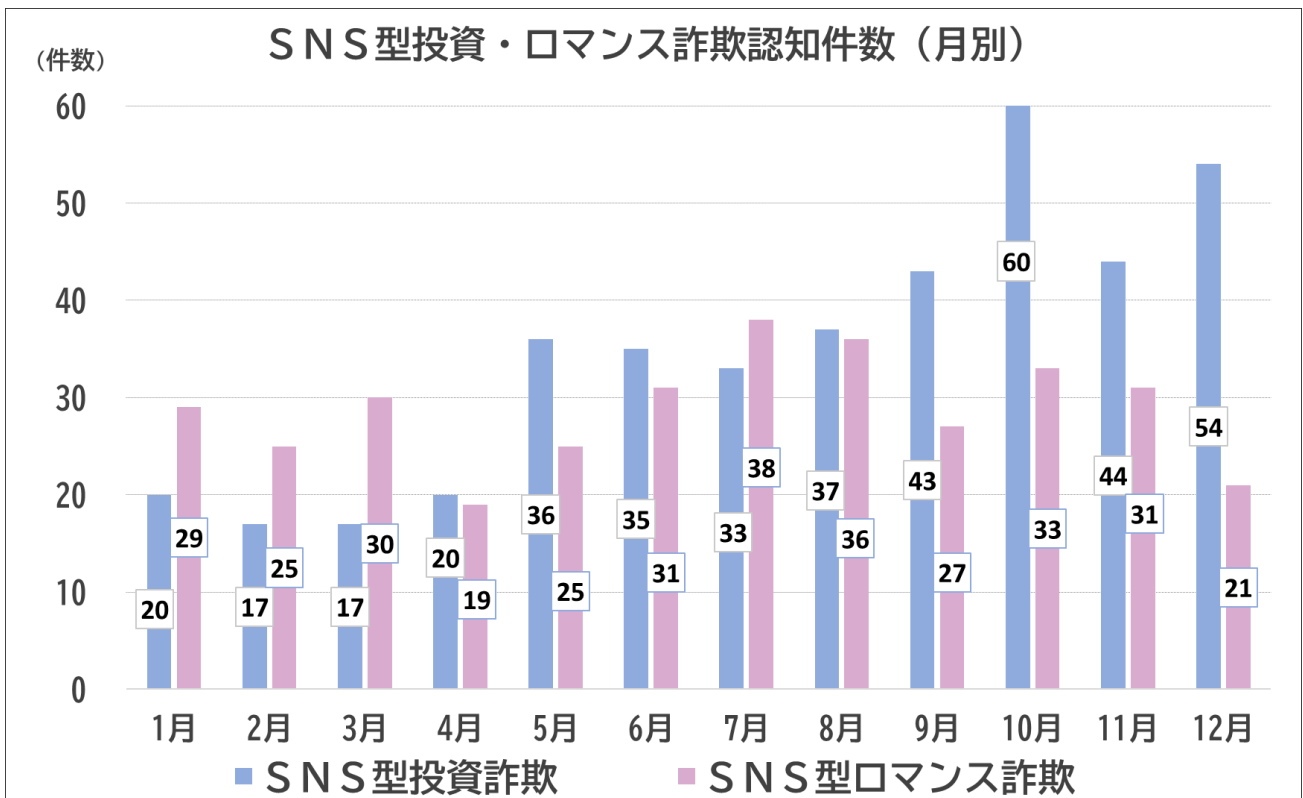
【ポイント】

- 前年と比較し、認知件数・被害額ともに増加
- ニセ電話詐欺と比較し、認知件数は少ないが被害額は約1.5倍を記録
- 下半期にかけて投資詐欺の被害が増加傾向
- ロマンス詐欺のうち、手口の8割以上が投資名目
- 1件当たりの被害額は1,000万円超
- 被害時(嘘の投資話を持ち掛けられた時)の連絡方法(SNS等)はLINEが全体の9割超を占める。

1 認知状況・被害額 ※ ( )内は前年比、千円以下は四捨五入、令和6年から統計開始

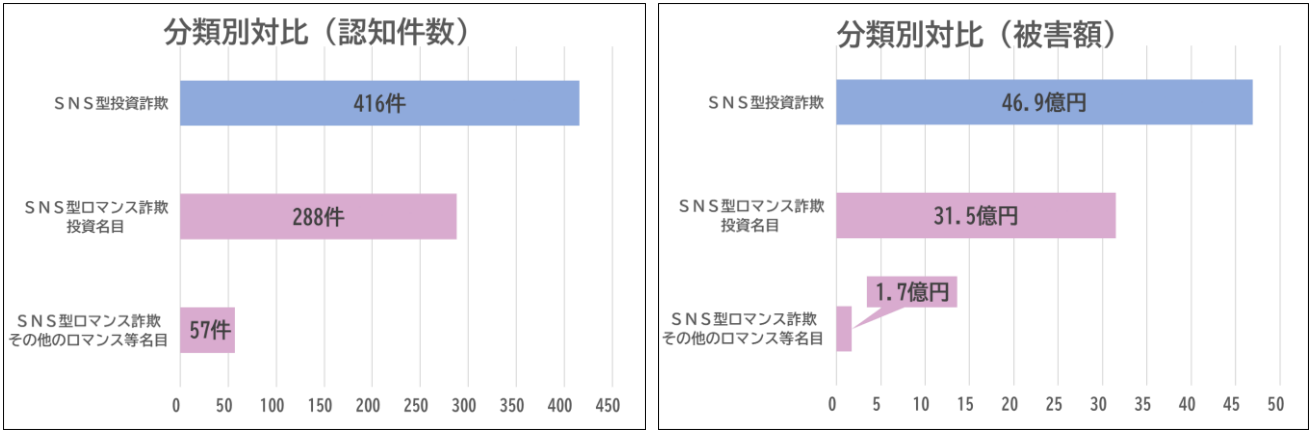
- ・ 認知件数 761件(+97件、約15%増加)  
(SNS型投資詐欺416件、SNS型ロマンス詐欺345件)
- ・ 被害額 80億1,624万円(+10億7,477万円、約15%増加)  
(SNS型投資詐欺46億9,236万円、SNS型ロマンス詐欺33億2,388万円)

2 令和7年中の被害の推移



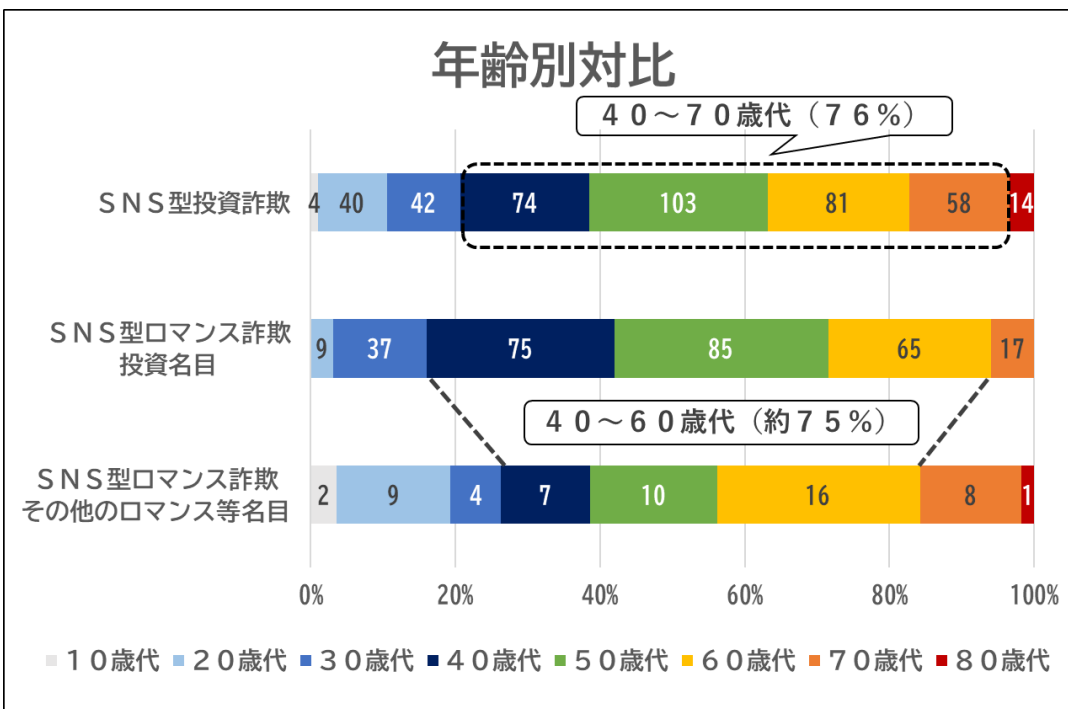
- ・ SNS型投資詐欺とSNS型ロマンス詐欺のいずれも前年に比べて認知件数・被害額ともに増加
- ・ 5月以降、SNS型投資詐欺の発生が増加
- ・ SNS型投資・ロマンス詐欺の1件当たりの平均被害額は、約1,053万円
- ・ 1件当たりの平均被害額は、SNS型投資詐欺が約1,128万円、SNS型ロマンス詐欺が約963万円

### 3 分類別の対比



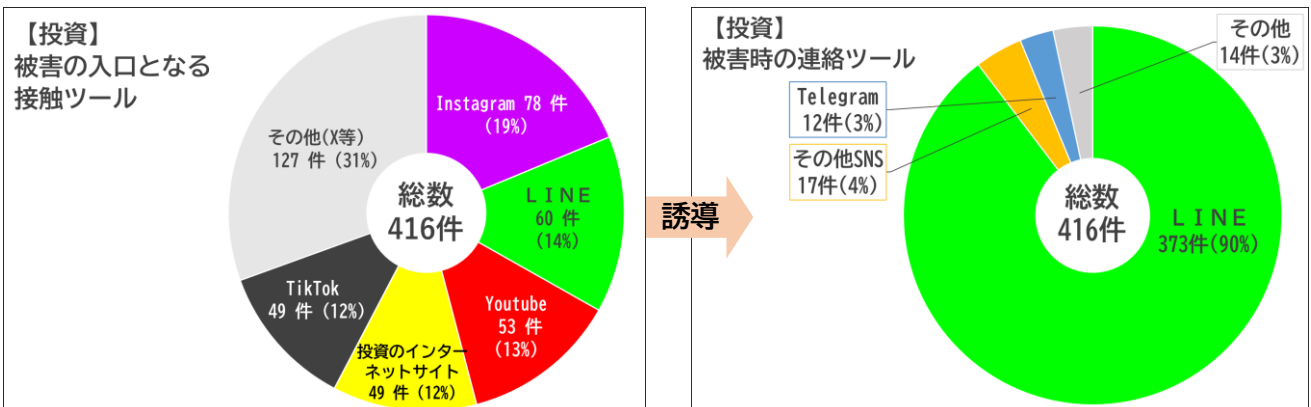
- ・ SNS型ロマンス詐欺被害のうち、**投資名目**が約83%(認知件数)・約95%(被害額)を占める。

### 4 年代別の対比



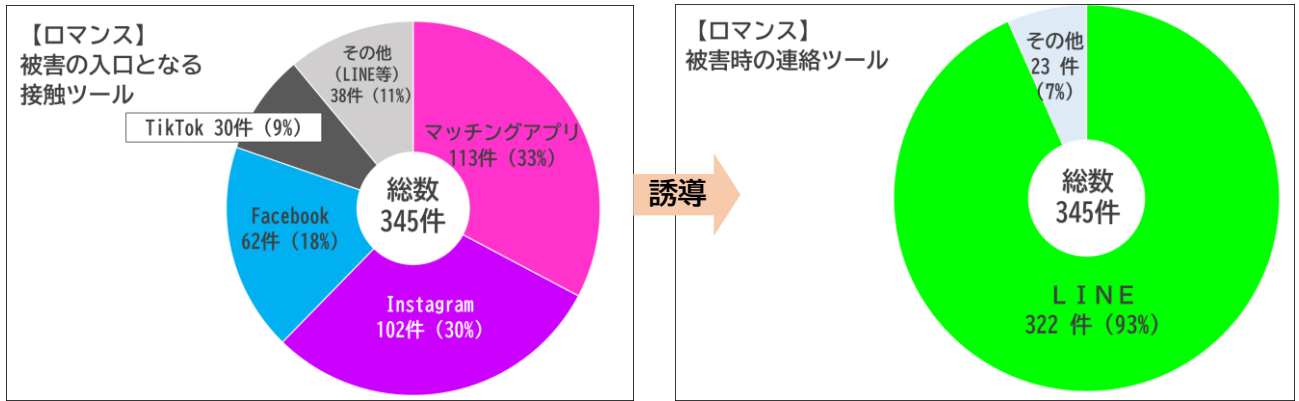
- ・ SNS型投資・ロマンス詐欺ともに**幅広い年齢層**に被害が及んでいる。

### 5 手口の傾向(SNS型投資詐欺)



- ・ 被害の入口となる接触方法(SNS等)は、Instagram、LINE、YouTube、投資のインターネットサイト及びTikTokで**全体の約7割**を占める。 ※ YouTubeの増加が顕著
- ・ 被害時(嘘の投資話等を持ち掛けられた時)の連絡方法(SNS等)は、LINEが**全体の9割超**を占める。

## 6 手口の傾向(SNS型ロマンス詐欺)



- 被害の入口となる接触方法(SNS等)は、**マッチングアプリ**が全体の3割以上、InstagramとFacebookで全体の約半数を占める。
- 被害時(嘘の話を受けた時)の連絡方法は、LINEが**全体の9割超**を占める。

## 7 手口と被害の実態

### SNS型投資詐欺

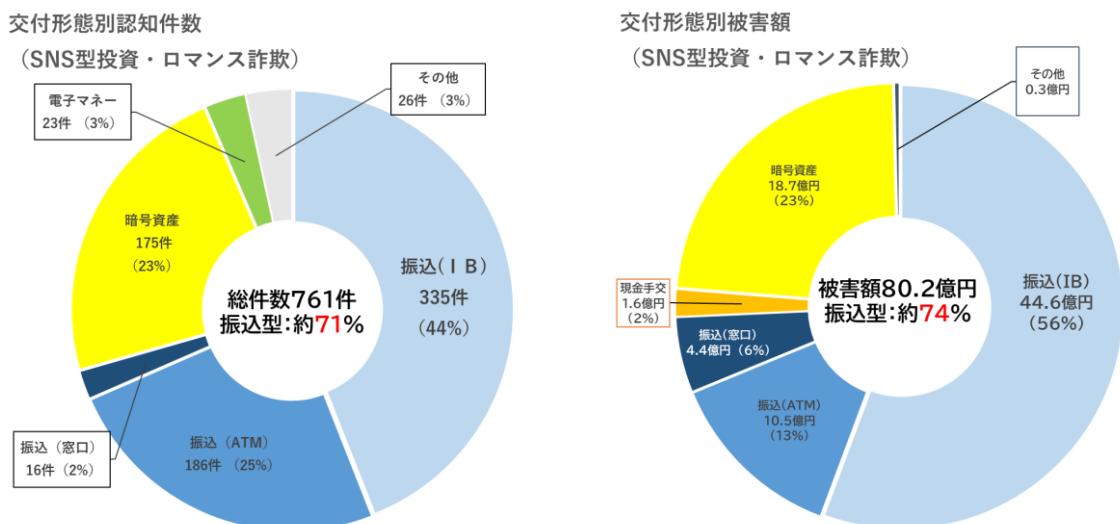
- **著名人(有名投資家や起業人等)**をかたった「**バナー等広告**」や「**ダイレクトメッセージ**」からLINEのやり取り(投資に関するグループトーク)に移行後、出資金や出金料名目に金銭をだまし取られる。
- 犯人は、**投資用アプリ**等の画面上で利益が上がっているように見せかけたり、やり取りを始めた初期の段階では少額の利益の払い戻しに応じたりして被害者を信用させた上で、繰り返し金銭を要求するため、被害が高額となり、発覚も遅れている。
- 犯人は、被害者を投資に関するLINEのグループトークに誘導すると、グループ内に投資の成功話をしてくるサクラ、投資家及びそのアシスタント等の役を次々と登場させ、嘘の投資話を信用させている。

### SNS型ロマンス詐欺(投資名目)

- 「**マッチングアプリ**」の「**ダイレクトメッセージ**」からLINEのやり取りに移行後、趣味の話が弾むなどして親密な関係になり、投資を勧めた後に出資金や出金手数料等の名目で金銭をだまし取られる。
- 犯人は、将来の結婚を前提とした「**資産形成のための暗号資産投資**」等と言って投資話を持ち掛ける。
- **ダイレクトメッセージ**でのやり取り後、別のSNSに誘導されて交信を重ねるうちに、**ネットショップ経営**への投資を勧められ、出資金や出金手数料等の名目で金銭をだまし取られる。

### 被害におけるインターネットバンキング(IB)利用の実態

- IB利用の割合が認知件数の**半数近く**に上る。
- IB利用の割合が被害額の**約6割**を占める。



## 8 阻止状況

- 銀行員による阻止(SNS型投資詐欺) ※阻止額300万円  
阻止者は、現金を出金するために来店した被害者(82歳、女性)に理由を尋ねたところ、「投資のために送金する」旨申し立てた。  
さらに、送金先について被害者が提示したSNSのやり取り内容を確認した結果、投資詐欺である可能性が高いと判断したため、上司に報告し警察へ通報したもの。  
被害者は、SNS上の投資に関する広告をクリックしたところ、別のSNSに誘導され、投資で有名な男性を騙る男の勧めで株を購入した。  
その後、「個人で利益を上げるには限界がある。資金を預ければ、今以上に利益を受け取ることができる。」等の投資話を持ち掛けられたもの。
- 信用金庫職員による阻止(SNS型ロマンス詐欺) ※阻止額75万円  
被害者(60歳、女性)が振込のため来店し、阻止者が窓口で理由等を尋ねたところ、当初、黙して語らない様子に不審を感じていた。  
被害者がSNSのやり取り画面を示して理由を語ったところ、詐欺被害であることが濃厚となったため、上司に報告し警察へ通報したもの。  
被害者は、TikTokでメッセージを受けたことをきっかけに、フランス在住で韓国籍の整形外科医を名乗る男とSNSでやり取りを始め、身の上話をする中で恋愛感情を抱き、シリアでの戦争被害の回復を名目に現金を求められたもの。

## 9 検挙状況

- ・ 検挙件数 ※ ()内は前年比、令和6年から統計開始  
10件 (+7件)
- ・ 主な検挙事件
  - 八幡西警察署・組織犯罪捜査課  
令和7年4月、SNS型投資詐欺の被害金を人民元に交換するなど、マネー・ローンダリングを請け負っていた雑貨品等の輸出を業とする中国人経営法人を摘発し、経営者の中国人2人を検挙した。